

**平成30年（2018年）秋のロシア・ユジノサハリンスク市における
歌舞伎公演（説明書2（1））の実施に関する参考情報**

一例として、出演者が「横尾歌舞伎団体」などとなる場合は、主に以下のような条件を確保することが期待されます。

1 公演時間

○1公演当たり45分が目安。公演の始めに歌舞伎紹介を行う。

2 会場・広報等

○座席数はユジノサハリンスク市で600席程度が最適。

○機材は、劇場からレンタルし設置することを想定。

○一席当たり1,000ルーブル未満の販売が望ましい。

○公演日は、11月10日及び11日とする。

○当地着が11月9日21時を予定しているため、会場設営は公演当日となる。スムーズな機材搬入及び設営のため、公演日午前中から会場側と打合せを行うことが可能であること。

○演目は、両日とも『菅原伝授手習鑑 車引の場』で、公演中は字幕を投影する。

3 出演に関するロジスティクス等

○出演者は、11月9日にユジノサハリンスク入りし、11月13日帰国予定。

○物品リストは別添の通り。

○団長、副団長の役割は、監督補助（役者指導・管理、音楽・部隊管理及び衣装・演出管理等）

○公演の打合せやマスコミ対応、字幕の切り替え等における日露通訳数名は必要。特に歌舞伎に関する専門用語等を理解する通訳が必須。

○広報は会場満席を達成できるよう力をいれること。当地の「サフコム」通信は必ず利用すること。

○当地で初となる歌舞伎公演であり、日本の伝統芸能普及のため、可能な限りマスコミ関係者と調整してほしい。先方（出演者側）もインタビューを受ける意向あり。

（了）